



小金北地区総合防災訓練が11月15日(日)に開催され、総勢502名が参加しました。メイン会場的小金北小学校では、中金杉町会160

プライベートルーム設営訓練=小金北小講堂で



名と大金平25丁目94名の254名により訓練を行いました。

訓練は午前9時に大災害発生想定のもと、共助班長による災害時避

●ふるさと祭り 宵宮・本宮とも無事終了

秋を彩った大イベント(記事は2~4面に掲載)

難行動要支援者の安否確認を行った後、各丁目毎の初期避難場所に集

「小金北地区総合防災訓練」

北小を会場に17町会・自治会が大集合

●中金杉では避難行動要支援者の安否確認訓練も実施

し、安否確認、参加人員の状況を青年館に設けられた中金杉の防災本部に報告し、各丁目毎に幟旗を掲げ、避難場所である小金北小学校に向かいました。小金北小に到着した一行は安否確認等の情報を災害本部に避難状況を報告した。避難所の作成、少年少女クラブ(小学生と中学生で構成され、大金平消防署に組織された火災予防活動などを行う松戸唯一の団体)による災害時の

「少年少女クラブ」緊急時の対応実演

- 大腿部出血の対応は、患部にタオルを巻きその上からネクタイで縛る。
- 前腕部骨折の対応は、骨折部を新聞で巻いた上からネクタイで締める。そしてポリ袋の底の部分に穴を開け、腕を入れポリ袋の上部を首の後ろで結ぶ。
- 重篤者の運搬は、毛布の両サイドを巻き、巻いたところを4人で持って運ぶ。竹竿等があれば、毛布の両サイドを竹竿に巻く。
- 心肺停止者を助ける時は ①意識の確認 ②呼吸の確認 ③助けを呼ぶ。(AED、救急車) ④心臓マッサージ30回に、人工呼吸(鼻をつまむ)を2回の割合で行う ⑤AEDと心臓マッサージを意識が戻るか救急車が来るまで続ける。



Photo by tatibana

訓練の実演。簡易トイレの作成、照明器具の設置のための発電機の取り扱いなどを見学。最後に防災本部長石井平賀町会長、原小金北小学校校長、千種消防署長から講評を聞き、全体の訓練は終了しました。

その後、青年館に移動して温かい炊き出しうどんを食べ、仲村自治会

問題が皆で共有できたことは大きな成果でした。

最後の講評では「訓練の成果を一つでも覚えて欲しい。訓練をとおし学んで欲しい。大災害はいろいろな条件で起き、雨の時もある。病人、老人といろいろの人もいるので対応が難しい。訓練を非常時に役立てて欲しい。直下型地震の場合、地鳴りとともに一気に揺れが来るので、人を救うため家具の転倒防止の取り付けなど身近なことからはじめて欲しい」との話があった。(笹嶋 貢)

◆かわら版・第33号◆

発行元 中金杉自治会

(記事・写真の無断転載を禁じます)

長、加藤防災部長の挨拶の後、解散しました。当日は、小雨の中の訓練となり、参加人員の把握など手間取ったところもありましたが、大災害が発生した時の

賑わいました「ふるさと祭り」

燃えた中金杉 神輿と踊りとイベントと

ふるさと祭り実行委員長・笹嶋 貢

中金杉の最大のイベント「ふるさと祭り」が、10月17日(土)、18日(日)の2日にわたり、好天にも恵まれ、皆様方の温かいご支援とご協力により、無事に催すことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

子どもが主役の宵宮、本宮では山車や神輿が今年も道筋を変えて町中を練り歩き、懇親会は盛大に行われました。

山車を引く子どもたちの半纏が相当数足りなくなるなど、嬉しい誤算もありました。おかげで、坂の多い中金杉を山車はいつもよりスムーズに引かれていました。また、山車には今年から弓張提灯が飾られ綺麗に化粧されました。懇親会の恒例となった抽選会は、3丁目の唐沢さんのご厚意により「箱根高原ホテルペア宿泊券」は1本増え2本となり大いに盛り上がりました。懇親会場に多くの皆さまが集まり交流が図られるようにと、机の配置を工夫しましたが、スペースに限界があり今後の課題となりました。

お祭りに参加した方が食べるおにぎりは、今年から青年館で作ることになりました(洗米は3丁目の高橋昌男さん宅)。昨年までは、1丁目の田嶋代志江さん宅で行っていたので、どうなるか心配しましたが、何の問題もありませんでした。中金杉の今までの経験は生かされ「中金杉パワー」を思い知らされました。

子どもの頃のお祭りは懐かしいです。そして、その中金杉祭りを大人になり楽しめることは、もっと素晴らしいことです。そのようなドラマが、今中金杉で生まれています。

中金杉祭りも19回目となり、協賛金集め、宵宮、神輿渡御、懇親会、抽選会、歩行者天国が定着し、中金杉の皆さまから愛される祭りになったと実感して参りました。

また、皆さまからは、大いに盛り上がり素晴らしいお祭りになった、懇親会場でのお持ち帰りがなかったなどマナー向上の意見もありましたが、会場が狭い、休憩所や懇親会場での指示が不明確であったなど、中金杉祭りの輪が広がることによる問題点も浮き彫りになりました。

★・・・・★

来年は、中金杉祭りも記念すべき第20回目となります。皆さまが満足できるお祭りなるよう努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いします。

★お年寄りも子供たちも皆さんが主役です

「ふるさと祭り」今年も素晴らしい秋祭りとなりました★



Photo by tatibana ikeda naito sasajima

●おにぎりの話

思考錯誤で取り組んだ
今年のおにぎりづくり

祭りの「おにぎりづくり」は、これまで中金杉町内の小野田盛也さん、鈴木泰三さん、高橋岩雄さん、江尻秀郎さん、田嶋昌司さんら地元の篤志家のお宅を、長年お借りして自治会のご婦人たちと一緒ににおにぎりづくりをしてきました。

昨年までの6年間は、田嶋さん宅で続けてきましたが、「篤志家の家族ぐるみのご苦勞」を考え、

今年のおふるさと祭りからは『自治会自前で作ってみよう』ということになり、始まりました。



伝統を絶やすわけにはいけないため、ふるさと祭り実行委員会では、結論がでるまで試行錯誤と不安がいつぱいでした。

「何せ1000のお米で、2千個を超すおにぎり作り作業に挑戦する

●ふるさと祭りに参加して

今年も頑張りました

「サタコミ」の子ども達

企画・販売・計算まで実体験

「仲間を知り、地域を知った

楽しい機会でした」

「いらっしゃいませ!」。スクール生の元気な声とともに出店が開店します。「サタデーコミュニティスクール北小金」は、月に2回土曜日に殿平賀小学校で活動しています。理科実験やザリガニ釣りなどさまざまな活動を通して、異年齢の人との関わる楽しさを発見したり、新しい自分を発見したりする場になっています。

中金杉の「ふるさと祭り」の出店準備は、約1カ月前から行っています。どんなゲームにしたらお客さんが楽しめるかな。どうしたら人が集まってくるかな。どうしたら黒字になるのかななど、企画からお金の計算まであらゆることを学べる機会になっています。出店当日は、お客さんの笑顔で元気が出たり、仲間と協力する楽しさを実感したり、とても素敵な時間になっています。

振り返りの時間では、「またやってみよう!」「次はこうしてみようよ!」といった積極的な言葉がたくさん見られ、このような環境を与えて下さるふるさと祭りの運営の方、また地域の方々には感謝しております。

(サタデーコミュニティスクール長
・平林みどり)



ことには異論もありましたが、青年館に設備を整えればなんとかなる」との決断のもとに準備が進み、本番のお祭りを迎えることが出来ました。

★ ★

おにぎりづくりの準備はノウハウを持つベテラン・田嶋代志江さんの指導の下、婦人部長三浦喜久江さん、睦会内藤光男さんらが中心になり、順調にすべり出しました。

前日の宵宮に高橋農園の昌男さん宅のご厚意で「炊飯テスト」を済ませ、本宮の朝を迎えました。本宮の

朝6時には、青年館の山車倉庫前に力自慢の睦会の人たち、自治会婦人部などの担当者が集まり、大きな炊飯器3台に点火しました。

炊きあがりまで45分。出来上がったごはんは青年館2階ホールまで階段を苦も無く若者が次々と運搬。ホールでは待機していた婦人30人はにぎり作業に追われていました。

★ ★

「後日、『おにぎり』について、皆さんからご意見をお伺いしました。来年はそのご意見を踏まえ、美味しいおにぎりづくりを目指します」と三浦さんは話していました。

なお、おにぎり用の炊飯作業は、今年も一部を2丁目の「めいと中金

●中金杉の6夫妻「結婚50年祝賀会」に招待

「おめでとうございます」

小金地区社協主催の「御結婚50年周年記念祝賀会」に、中金杉から6夫妻が招ねられました。対象者は1丁目松下忠昭・由紀子さん、2丁目仲村利雄・紀美子さん、4丁目松戸實・裕子さん、同・阿部辰数・フサ子さん、同・山田一次・明子さん、同・杉山和靖・泰子さんの6夫妻でした。

(自治会・祭り実行委員会＝平賀) 杉」に担当していただきました。有り難うございました。

●イベント部会

観客湧かせた「多彩な芸」

久米 勲

今年のふるさと祭りお楽しみステージはさらにスケールアップした構成になっておりました。中金杉在住のお笑いコンビ「地面」をはじめ、



賑わった「夜の会場」

尾崎美月さんのタップダンス、ちびっこチアダンス、日本舞踊、とんとんみーのエイサー、なんといってもB.N.モノマネ芸人のTANOさんとあつという間の3時間です。
また、お楽しみ抽選会では特賞の箱根ペア宿泊券は2本ありました。

●設営部会

準備作業から後片付けまで
皆さん有り難うございました

吉野 朝夫

今年も、設営部会は8月のミーティング後、在庫チェックによる、道具・消耗品の補充購入を行いました。

同時にステージの設営・電気工



「舞台」で躍動 太鼓の音

事の手配に始まり、懇親会用のテーブルの不足分・おにぎり用の炊飯器・LPガスボンベ等のレンタル品の手配も行いました。
祭りの準備・当日・後片付けのお手伝いやご協力をいただきました。ありがとうございます。

●童心に返った「中金杉ふるさと祭り」 4丁目・小川智弘

毎年、楽しく参加させていただいていた「中金杉ふるさと祭り」。組長の役が回ってきたこともあり、19回目を迎えて、今回初めてお祭り準備のお手伝いをさせていただきました。

準備会議や祭り会場の草むしりをしながらお祭りが近づいてくる中で、何か変だ、何か今までと違うと自分の落ち着かなさを感じていました。

宵宮の会場設営の手伝いに向かっている、何処かフワフワしているな〜と。そんな折、ようやく明かりの燈（とも）った会場の提灯をふと見上げると子供の頃楽しみにしていた夏祭りを思い出しました。

感じていた違和感は、久しく忘れた子供の頃と同じ祭りの明かりに心踊らされる気持ちなのだと、その時気がつきました。

そんな気持ちになれたのも楽しませていただいた「お客さん」から、手伝いの末端ではありますが、お祭りの「作り手」の中に入って、ふるさと祭りに参加させて貰えたからなのかも知れません。

参加した子供達が大人になり、このお祭りに思いを馳せてもらえたらどんな嬉しいことでしょう。

当時の気持ちを再び感じる事ができた事に感謝し、次のお祭りでも自分に何が出来る事がないかと、もう来年を待ち遠しく想っています。

●松戸市市民運動会・小金地区大会 中金杉自治会からも応援部隊

地域交流

第44回を迎えた「松戸市市民運動会・小金地区大会」は10月12日、小金南中学校を舞台に開かれました。この運動会は毎年、小金北中学校と交互に開かれている伝統のある行事です。年々参加者も増えてきています。

朝の内の曇り空は、一転快晴に変わり運動会日和となりました。中金杉自治会からも早朝の準備作業のお手伝いに始まり、本番では「集合班」を担当。仲村利雄自治会長はじめ高橋英吉1丁目会長、加藤勇2丁目会長、舟越勝昭5丁目会長と平賀らが応援に駆け付けました。中金杉子ども会からも参加、快晴のグラウンドで元気いっぱい頑張っていました。全力で力走する子ども、汗をびしょりかきながらの綱引き・・・大人も子供も力のこもった競技に観客席から声援が沸き起こっていました。この運動会は南北町会の交流の良い機会となっています。（平賀）

子ども会だより

●中金杉子ども会ソフトボール 南北大会で優勝

いつも忙しいところ応援と協力ありがとうございました。

11月3日祝日に開催された青少年団主催の南北大会で、中金杉子供会ソフトボールチームが優勝しました。

組み合わせ抽選の結果、小金北地区大会優勝チームでしたのでシード



準決勝からでした。結果は準決勝が11対3(小金南清志町)、決勝が5対2(小金北平賀あじさい)でした。

決勝は、シーソーゲームで先制され追いつき、勝ち越され、また、追いつき、最後に勝ち越しのホームランが出たの勝利です。チームみんなで勝ち取った優勝になりました。今後も頑張りますので、応援をよろしくお願いします。

なお、来年に向けて部員を募集しています。

▼一柳の携帯メール▲
(XLINE) 0705191231@docomone.jp) まで連絡を下さい。

(一柳 健)

●中金杉ドッジボールチーム フレンドリー大会で準優勝 成果が結実 今年も頑張りました

9月27日フレンドリー大会20チーム中準優勝。今年初めての決勝戦、大観衆の前で名前を呼ばれて試合開始を待つ子供達の顔は輝いていました。延長戦で最後の数秒で逆転負けをし悔し涙を流しました。

その後、10月18日南部大会20チーム中ベスト8。11月1日中央大会

29チーム中予選敗退。この間、悔しい結果が続いていました。11月15日南北大会8チーム参加のうち優勝。今年度は、同地区の横須賀しろあと、



大金平つばさが市内大会で優勝しており、強豪揃いの中での南北大会優勝は手ごたえのあるものでした。頑張ってきた成果が結果に結びつく経験が子供達の自信につながりました。

▼入部のお問合せ先▲

090-8464-4080(山口)までご連絡ください。

(ドッジボール監督 山口利史)

●小金北地区子ども会連合会 育成会ソフトボール大会 雨のため途中で終了

11月23日(月)小金北地区子ども会連合会育成会ソフトボール大会が、東洋学園大学グラウンドにて開催されました。当日は生憎の小雨の寒空でした。

中金杉は5チーム中、最大の参加人数で臨みましたが、天候不良により、2試合で大会は終了となりました。内藤光男監督をはじめ参加・お手伝いいただいた方々お疲れ様でした。

(吉野)

地域交流

●本土寺で紅葉とお茶を楽しむ会

小金地区社協主催の「紅葉とお茶を楽しむ会」が4日、本土寺で開かれました。中金杉からも「なごみ会」の人たちと70歳以上の有志が参加しました。

境内の開山堂から晩秋の残り紅葉はしっかりと残り、皆さんと美味しいお茶をいただいてきました。

(平賀)

●中金杉親善ゴルフ大会 腕自慢30名が参加し熱戦 最高齢84歳もがんばりました



10月29日(木)、かすみがうら OGM ゴルフクラブにて、「第2回中金杉ゴルフ大会」が開催されました。このゴルフ大会は中金杉自治会の福祉部が主催しており、昨年より町内のゴルフ腕自慢が「新ベリア方式」で争われます。

第1回のチャンピオンは4丁目会長の小野田靖男さんでした。

今年は小雨のなか30名が参加。最高齢84歳の人もがんばっていました。試合は楽しく、仲良く・無事に終わりました。

なお、栄えある優勝はベスグロでラウンドした渡辺利博さん(1丁目在住)でした。おめでとうございます。(久米 勲)

は、保護者にとっても喜びであり、関わった保護者からは、やって良かった、楽しかったという感想をよく耳にします。また、私たちが頑張る後ろ姿を見ることで子どもた

ワーズの皆さんの「ストラックアウト」「キッズ料理教室」の野菜ソムリエ・尾崎明さんを中心とする皆さんの「野菜に親しむ講座・玉こんにやく販売」です。
あいにく雨天のため、残念ながら松戸實さんのグラウンドゴルフは中止となってしまいました。子どもたちはとても残念がり、「来年は絶対やって!」「体育館でもいいから!」との声が聞かれました。

「ストラックアウト」「野菜に親しむ講座」はともに大盛況でした。

両コーナーとも時間中は長い列が出来ていました。野菜講座の会場では急ぎよ、イスを増やすなどしました。この2コーナーは、6年生の選べるバストスリーに選ばれました!

「子どもたちの笑顔のために」ということで頑張ってきましたが、子どもたちの笑顔はもちろん、保護者や地域の方々も笑顔いっぱい開催できました。このように地域・学校・保護者が一体となり、子どもたちの為に活動できることに心から感謝しています。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。引き続きご指導、よろしくお願い致します♪

(小金北小・前PTA副会長)

●小金北小 ふれあい広場

子どもたちの笑顔のために

1丁目・池田理恵子

小雨降る11月14日、「小金北小ふれあい広場」が開かれました。

平成29年には創立50周年を迎える小金北小学校において、昭和63年にはじまった歴史あるこのPTA主催の一大行事は、時代ととも



北小の応援キャラクター
「きたっぴい」で一す

は春から企画・準備に取り組んできました。

仕事を持つ保護者が多い中、時間をやり

くりしてみんなで協力してコーナーを作り上げていく事は簡単ではありません。喜んでくれる子どもの笑顔を想像しながら一生懸命取り組むこと



★・・・★

今年も地域のコーナーとして、中金杉在住の方からご協力をいただきました。石崎建夫さんをはじめとするパ

ちも何かを感じてくれている、と思っています!

短歌・俳句・川柳のページ

● 短歌

・強すぎた大横綱の北の湖急な訃報に新聞を二度見る

・宮入し三三七の拍子木（き）が入り「おつかれ様」と肩たたき合つ

・三人目のお宮参りもお諏訪様お札（ふだ）を貰い健やかを祈り

（5丁目 正ちゃん）

● 俳句

・葉の脈を空に透かして 冬紅葉

・太陽に投げかけること 蒲団干す

・皿盛りの鰯安値の なぐり書き

（2丁目 和男）

・クリーンデー（近所集い）落ち葉掃く

・落鮎にかぶりつきたるの鄙の宿

・つるし柿 頑固面して 風睨み

（2丁目 ひろこ）

・カラタチの 匂いほのかに 秋うらら

・枕辺に 本を積みあげ 待つ眠り

（2丁目 よしお）

・縁側に 座布団二つ 月夜かな

・大木に 落ち葉かき寄せ ゴルフする

（3丁目 秀）

● 川柳

・高野山 敵も味方も 寄り添って

・奥の院 ときを重ねて 甦る

（2丁目 ばけぼし）

・国技館 モンゴル館と間違われ

・草原の 風を嘉風 吹き飛ばし

・国産の 大関みんな アホーどり

（2丁目 トンボ）

● 11月の「歩け歩け会」

東大銀杏並木・六義園をたん能
晩秋の都内散策を楽しみました

なごみ 会

11月の「なごみ会」歩け歩け会は30日、加藤勇ご夫妻の案内

● 初冬の福祉講習会『成年後見制度のおはなし』 講師はめいと中金杉施設長・東光枝さん

12月5日、中金杉青年館ホールで住民25人が参加して、東光枝施設長から成年後見制度についてお話を聞きました。4年前の平成23年3月にも2日間にわたる集中講座を「めいとケア」で聞きました。今回も自治会の高齢化対策の一つとして、同じテーマで東さんに自治会から願ひした所、快く引き受けていただきました。人は年を取ると認知症や判断能力が落ちてきます。そんな時に「法定後見制度」が生きてきます。判断能力の度合いにより「法定後見制度」「任意後見制度」「補助人」「保佐人」「成年後見人」などの法律行為が適用されます。その難しい用語の解釈などを図解入りのテキストをもとに分かりやすく説明していただきました。「知識として知る」ことは大切なことです。いつかこの講座が役に立つことと思います。



（平賀）

なお、席上で配布されたテキストは、町内回覧板で

回わしますので、ご一読ください。 （福祉部・渡辺）

東大安田講堂を背に全員の集合写真



で、「東大銀杏並木」と「六義園」と

とげぬき地蔵」を見てきました。当日の参加者は23人。

東大のイチヨウの色づきはイマイチでしたが、六義園の日本庭園のモミジは今が真っ盛りでした。池の周りには出来たばかりの冬を告げる雪つりが庭園を引き立てていました。素晴らしい公園です。

「都心に居るのに、野趣に富み、何と静かな場所でしょう！」と、皆さん感激していました。



三四郎池を散策

昼食は男性と女性に分かれて頂き、散策の最後はお年寄りのメッパ・とげぬき地蔵通りを歩き、帰

りは懐かしい都電荒川線の新庚申駅から町屋に向かい、そこから千代田線に乗りついで北小金に戻りました。今回皆さんが歩いた歩数は1万5千歩を超え、名実共に「歩け歩け会」となり元気で帰ってきました。

（平賀）

●環境部と婦人部の計画

「中金杉公園の花壇を広げたい」
まずは枝落としの作業から

毎日、道行く人や子供たちに親しまれている「中金杉公園」の花壇を、環境部と婦人部では、さらに拡充する計画があります。

花壇を覆っているカエデなどの木の不要な枝落としを、松戸市に自治会から依頼、このほど市の委託業者の作業が終わり、花壇周りがすっきりとしました。

夏は緑陰ができ効果がありますが、花々にとって光を遮られ、落ち葉に泣いていました。今は陽光が差し込む花壇となりました。
(平賀)

●秋の町内一斉清掃

子ども達もお手伝い

10月25日の「秋のクリーンデー」。生憎の、「木枯らし1号」の強風にあおられながらの作業となり、枯葉があちこちで舞い上がっていました。各会場とも早朝からご家庭の周辺と、丁目内の公共スペースのゴミ、空き缶、空き瓶などの清掃を大人に交じって子ども達もホウキ持ってがんばっていました。

● WHO 'S WHO

ボランティアが生きがい

2丁目 吉富和男さん

11月17日「毎日お忙しいですけど、今日はどんな一日でしたか」「午前中は殿平賀小学校で栽培委員の生徒たちと9月に種まきして育てた葉牡丹と菜の花をプランターに移植しました。これは12月に近くの「グランドめいと北小金」にプレゼントするためです。午後は北市民センターの「あじさいサロン」の仲間とリトミック（リズム体操）を楽しみ、4時から中金杉2丁目のパトロールに参加しました。」
6年前に定年を迎えブラブラしていた毎日から、小金市民センターにある小金地区社協に立ち寄った縁から生活が一変されたようです。現在は友愛訪問（施設まわり）、あじさいサロン（折り紙、唄、工作、体操）園芸支援（北小、殿小）などのボランティア活動でひと月の半分は地区社協の事務局通いの日々です。どれも本番より段取りが8割、様々な方々との出会いがあり会話があることがとても楽しいようです。73歳を超えてなお意気盛んなお姿からは活力が滲み出しておられました。趣味は俳句（20年）と定年後始めた詩吟。
今号の「かわら版」俳句のページに掲載の「2丁目和男」をお楽しみください。（石崎建夫）

今年も中

金杉公園では枯葉を埋める2丁目の「力自慢」の穴掘り作業班が、汗を流していました。



では多くの人たちが集めた枯葉の束を、4丁目会長の小野田靖男さんの軽トラックの荷台に積み込んでいました。

春と秋のクリーンデーは、会員同士が互いに挨拶を交わし、近所の人たちと作業を通して交流を深める良

い機会となっています。

(平賀)

●はじめまして！よろしく

- ▼転入者 3丁目金澤寛喜さん 4丁目重松清高さん、荒木達也さん、逸見浩さん、中山慎也さん、鈴木陵太さん 渡辺大さん、伊藤洋さん、北村欣三さん、堤昭人さん
- おくやみ
- ▼故人 3丁目植松智子さん、渡部宗雄さん 5丁目 田中アキノさん
-

あとがき

秋祭りは近年にない賑わいとなり懇親会場は立錫の余地がないほどでした。イベントも多彩で見事な演技を堪能しました。今号は「かわら版」

●「かわら版」は創刊号からネットでも見られます

<アドレス>をコピーして貼り付けるか「お気に入り」に登録してご覧になれます。

<http://www.ac.auone-net.jp/~shinbun/kawaraban/>

「かわら版」のネット担当は広報委員・久米勲です。

080-6717-2824 kumeisao@gmail.com

●「かわら版」への投稿・ご注文・情報・苦情等は

下記の平賀義男までご連絡ください。・2丁目28番

電話&ファクス 047・345・2068

メールアドレス h-yoshio@mug.biglobe.ne.jp

男さんと編集長の平賀義男が担当しています。

紙面には、皆様からの投稿が増え、紙面がいきいきとしてきました。

『中金杉かわら版』は、広報委員石崎建夫、久米勲、橘眞理子、西辻正二、吉野朝夫、笹嶋貢、内藤光